

全国保健師長会

群馬県支部 **ミニつうしん**

令和5年度 第1号



発行日

令和5年 8月8日

支部長 永井 佳美

1 群馬県支部長あいさつ

支部長 永井 佳美

日頃より、会員の皆様には本会県支部の活動に、御支援・御協力を賜り厚く感謝申し上げます。

過日の総会で、今年度支部長の大役を仰せつかりました。大変不慣れですが、会員の皆様相互の連携親睦をはじめ、県民の健康を守るための質の高い保健師活動の一助となるよう努めていきたいと存じますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

この3年間、各所属では総力をあげて新型コロナウイルス感染症への対応に取り組まれてきたことと思います。一方、コロナが落ち着きつつある中、御存知のとおり地域保健対策の推進に関する基本的な指針の一部改正、改正精神保健福祉法の施行、こども家庭庁の新設などが行われ、保健師の活動は、先を見据えつつも着実な成果が求められていることと存じます。

今年度の全国保健師長会の活動テーマは、「変わりゆく地域の健康課題に対峙する公衆衛生看護活動の展開～「誰ひとり取り残されない」保健師活動の転換期を仲間とともに乗り越える」としています。分散配置の中、管理的立場で所属内業務に追われていると、保健師活動全体を把握するのが難しい状況になりがちですが、県と市町村の垣根を越えて仲間とともに所属自治体のより効果的な保健師活動を推進するために、本会からの情報提供や県支部の活動等を御活用いただければ幸いです。

また、9月2日（土）には北関東甲信越ブロック研修会が本県で開催されます。会員の皆様の多大な御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

今年度も、役員一同、力を合わせて取り組んでまいりますので、会員の皆様の御支援・御協力の程、重ねてお願ひ申し上げます。



2 令和5年度支部総会開催されました

6月3日（土）ぐんま男女共同参画センターにおいて開催され、

31名の会員の皆様に、ご参加いただきました。ありがとうございました。

また、退任された支部長・船越様（桐生市）、書記・田村様（渋川市）、大変お世話になりました。

♪令和5年度会員数は 91 名です

今年度の会員数は、市町村39名、中核市33名、県18名、大学1名で91名です。

総会員数はほぼ横ばいですが、今年度新たに加入された方もいますので、本会の魅力を高められるよう努力していきたいと思ひます。

周りに未加入の方がいらっしゃいましたら是非お声かけをよろしくお願ひします。



♪ 令和5年度群馬県支部役員

どうぞよろしくお願いいたします

支部長	永井 佳美（群馬県こころの健康センター）
副支部長	堀越 恭子（伊勢崎市）
書記	沼澤 真澄（太田市）
会計	福田 由香（高崎市）
監事	加藤 博子（桐生保健福祉事務所）
（全国保健師長会委員）	
ブロック理事	矢治 香理（高崎市）
広報委員	樋口 早苗（前橋市）



3 令和5年度研修会について

- ① 「石巻市被災地支援から学んだこと」 桐生市 福田尚美氏
- ② 「新型コロナウイルス感染症～保健師等のメンタルに関すること～」 高崎市 橋爪 千秋氏

【感想】 令和5年度全国保健師長会群馬支部研修会に参加して

市町村保健師

4年ぶりの対面開催となった全国保健師長会群馬支部研修会の保健師の活動発表にて、桐生市の福田係長より「石巻市被災地支援で学んだこと」について、高崎市保健所の橋爪課長より「新型コロナウイルス感染症～保健師のメンタルヘルスに関すること～」について、それぞれ聴講しました。

「石巻市被災地支援」の方では、令和2年度に派遣された講師から貴重な体験談をお聞きしました。現地ではPTSD等の課題が依然深刻であること、また、3.11当日からの保健師達の壮絶な体験などの一部も紹介され、途中からは涙なしに聞くことはできませんでした。

また、もともと石巻市の保健師は「日中ほとんど席にいない」くらい地域に出ているようですが、震災数日後から避難所等への訪問を開始し、また、コロナの緊急事態宣言下には、「こんな時こそ住民を怯えさせることがないように」と地域に向いて活動を続けた等、辛い、あるいは厳しい状況下でもぶれずに保健師活動がされていたということに感動し、改めて住民主体の保健師活動について考えさせられました。

「新型コロナウイルス感染症」の方は、私の上司の発表でした。中核市保健所の経験の一部について情報共有できたのではないかと思います。また、聞いていた皆様がそれぞれのお立場で、うなずける部分と、「うちの場合はこうだった」という部分があったのではないのでしょうか。どちらの発表からも、平時からの地域に根ざした保健師活動や準備の重要性、有事の際の保健師の役割や方向性を考えさせられる有意義な研修でした。また「もし、自分たちの身に起こったら参考になるかもしれない具体的な体験談」であり、まさに対面で聞いてこそその内容だったと思います。講師の方々および役員の皆様に感謝申し上げます。



桐生市 福田保健師の活動発表「石巻被災地支援から学んだこと」では、石巻市に一年間派遣された福田保健師が見た、被災地の復興と、被災経験をつないでいく取り組みについて、また、高崎市橋爪保健師の「新型コロナウイルス感染症～保健師のメンタルヘルスに関すること～」では高崎市の全庁を巻き込んだ3年間の新型コロナ対応と過重労働対策についてのお話を伺いました。

お話の中で印象に残ったのは、保健師は自治体職員として支援者でありながら、自身も被災者になりえることと、当たり前ですが災害は突然やってくるということです。



石巻市の保健師が東日本大震災時、自宅の被災状況も家族の安否もわからない中で連続勤務をし、職責を果たした話には胸が詰まりました。

また、新型コロナウイルス感染症では、高崎市職員の方の過剰労働と、ストレスが高まる状況は身につまされました。急速に変化する感染状況に柔軟に対応することは容易ではなかったろうと思います。

近年、自然災害の発生件数は増加しつつあり、また次のパンデミックも予断を許しません。行政の立場で災害に備えるとともに、自分の備えも行いたいと思います。



4 北関東・甲信越ブロック研修会

今年度は**群馬県での開催**となります。講義と情報交換でリフレッシュしましょう!!

多くの方のご参加をどうぞよろしくお願い致します!(会員外も無料で参加OK)

- ①日 時 令和5年9月2日(土) 13:30~16:00(受付13:00開始)
- ②方 法 会場(高崎市総合保健センター)とオンライン(Zoom)のハイブリット方式
*県内は可能な限り、会場での参加をお願いします。
- ③テ ー マ 「保健師活動の転換期における人材育成～原点を見直し、これからを考える～」
- ④申込方法 各所属ごとに、8月10日(木)までに支部長あて申込書の送付をお願いします。

5 令和5年度全国保健師長会代議員総会

令和5年11月18日(土)に長野県長野市においてハイブリット方式で実施予定となっています。

詳細がわかりましたら、御連絡します♪



体調管理に気を付け、暑い夏を乗り切りましょう。

本会活動へのご理解・ご協力を今後ともお願いいたします。

